

感染症情報

7月21日～27日(第30週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★★	↓	まれにみられます
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★★★	→	流行中です
⑥	溶連菌感染症	★		
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★	↑	増加予想
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	↓	減少傾向です
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★★	→	流行中です
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★★	→	まれにみられます
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★	↑	増加予想
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★★	↑	高熱・発疹など
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★★	→	まれにみられます
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	↑↑	増加予想
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★	→	高熱、咳があります

全体的に感染症は少ないですが「百日咳」および「伝染性紅斑」が小流行中です。百日咳は中学生～大学生を中心に流行しており毎週数人みられます。

「水痘」はかなり少なくなっています。「インフルエンザ」は非常にまれですが「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は最近急速に増加傾向です。

「アデノウイルス感染症」や高熱を伴う「夏かぜ症候群」は時々みられますが、「手足口病」「ヘルパンギーナ」などの夏かぜはほとんど流行していません。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある